

◇ 松医会のページ ◇



—信州大学医学部同窓会—

父母会と松医会

信州大学医学部の臨床研究棟は耐震補強工事の半分が終わり、化粧直しの終わった外観が姿を見せています。新外来棟の稼働も平成21年5月のゴールデンウィーク明けに始まります。ご来松の際には是非母校にお立ち寄りください。その変身ぶりに驚かれると思います。

ところで、平成18年4月に信州大学医学部医学科に入学した子弟を持つ親の会が発足しました。私は医学教育センターの副センター長という立場ですので、毎年4月には新入生やご父兄に大学の施設を案内しています。また、この父母会の懇親会にも毎回出席しています。父母の方々とのお付き合いは松医会員の中で最も多いかもしれません。そこで、今回は松医会の皆様に信州大学医学部医学科にできた父母会についてご紹介します。

会長は豊岡正仁氏です。山梨県にご在住です。豊岡会長のご息は既に卒業されていますが、自身が明治大学の出身で、この大学には以前より強力な父母会があり、全国に支部を持ち、何かと大学の支えとなっていることが、現在の明治大学の発展の一助になっていることを実感されていたそうです。信州大学医学部にも明治大学のような応援団ができればよいと、以前より思っておられたそうです。ご子弟の所属クラブの父兄にも豊岡氏の意見に賛同する人が多く、この方々が核となり、ご尽力されて父母会が発足したと聞いています。

たしかに、父母は自分たちの子供を入学させてくれた大学に益することはしても、仇なすことはありません。私自身も自分の子どもがお世話になっている大学には親近感が湧きますし、更によくなってほしいと願わずにはおれません。

現在、信州大学医学部医学科では前期後期の一般入

試制度の他に、推薦入学制度を導入して長野県出身者を少しでも増やそうとはしていますが、今でも県外出身者は平成20年度入学生でも79%をしめ、信州大学医学部医学科の学生の多くは全国から集まっています。父兄の方々も様々な地方の様々な分野で、また極めて高い立場で、社会的活動をされている方が多く、強力な応援団になることは間違いありません。

年間の活動としては、信州大学の銀嶺祭に合わせて全国から父兄の方々が集まられて、懇親会を行っています。私も毎年参加しているせいか、多くの父兄の皆さんと顔見知りになりました。毎年この時期に父母会を名目に松本に来て、子どもの顔を見るのも楽しみだが、知り合いになった他のご父兄達と再会して歓談するのも楽しみだと話される方も多くおられます。

昔と違って最近の入学式には新入生の父母がとて多く参加されます。入学者は100人そこそこですが、入学式の同伴者は150人に迫ります。この新入生の父母に対してと一緒に父母会で語らいませんかと、20数人の役員の方々が個別に勧誘されていますので、年々の組織率も90%と高率になっています。

ところで、松医会の一部には父母会ができると松医会に入会する人が減ってしまうのではないかと心配されている先生が複数いらっしゃる伺いました。しかし、松医会は入学者本人が入る医師の組織で、卒業後も同級生や本学出身者と連絡を取り合い、お互いに損得なくおつきあいのできる素晴らしい組織です。一方、父母会はあくまで父母らがお互い親睦を深めて、信州大学医学部の応援団になってくださっているものであり、私は組織の目的や行動が相反することはないと思います。

これは全くの私見ですが、父母会と松医会で協力して両会への同時入会を勧誘すれば、新入学生の松医会への入会率も更に向上するのではないかと思います。松医会に入ってよかったと思うのは在学中よりも実社会に出てからであり、ここの感覚は入学者本人よりも父母がわかるのではないかと思うからです。今後、お互いに助け合いながら信州大学医学部を応援していただけるように車の両輪になればよいと思います。

(文責 松医会理事 医学教育・地域医療学講座

多田 剛)